

調布市深大寺地区公共サイン整備計画

平成25年10月 調布市

1. サイン整備の対象範囲	01
2. 地区内のサインの現状と課題（過年度調査より）	02
(1) 地区内サインの現状と問題点	02
(2) 整備に向けた配慮事項	02
3. 本地区で必要とされるサインの種類について	03
(1) 整備の対象とするサインの種類と機能等	03
(2) サインの種類	03
4. サイン整備の基本的事項について	04
(1) 設置基準	04
5. 「調布市公共サイン整備方針」と本地区での対応	05
(1) 深大寺地区における整備の考え方	05
6. サイン整備の計画コンセプト	06
(1) 深大寺地区の街なみ整備の目標と基本方針 (出典：「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」)	06
(2) 深大寺地区公共サイン整備計画の目標と整備方針	07
7. 各種サインのデザイン方針	08
(1) 案内サイン	08
(2) 誘導サイン	10
(3) 位置サイン	13
(4) 説明サイン	15
8. 配置計画	17
(1) 案内サイン	17
(2) 誘導サイン	18
(3) 位置サイン・説明サイン	20
(4) 全体配置計画図	21
9. 基本設計図	23
(1) 案内サイン	23
(2) 誘導サイン	24
(3) 位置サイン	25
(4) 説明サイン	26
10. 民間サイン協力指針	27
11. 維持管理について	28

調布市深大寺地区公共サイン整備計画策定の背景と目的

深大寺地区は、都市近郊にありながら、国分寺崖線のまとまりある緑とせせらぎなどの豊かな自然環境や、深大寺及び周辺には歴史的・文化的資源が点在し、趣あるそば店などにより、良好な街なみ景観と賑わいのある観光地となっています。

この良好な街なみ景観を将来に向け維持保全を図るとともに、地区に顕在する課題を解決していくため、調布市では「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」を策定し、地区住民等と連携を図りながら、地区におけるまちづくりを推進していきます。

地区の街なみ整備の目標「武蔵野の自然と歴史・文化を継承する街なみ景観づくり」の1つである「安全安心に深大寺地区を回遊できる環境の実現」を進めるため、核となる事業の1つが案内板等サイン整備です。

地区内の公共サインの現状としては、施設の老朽化や地区としての不統一などから、地区住民や来街者からも改善要望が高く、課題となっています。この課題に対応するため、深大寺地区固有のサインの考え方をとりまとめ、地区独自のまとまりある公共サイン整備を推進するため、「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」の基本的考え方に基づき、「調布市深大寺地区公共サイン整備計画」を策定します。

1 サイン整備の対象範囲

当計画の整備範囲は、下図に示す深大寺地区約38haとします。

深大寺地区は、京王線調布駅より北に約1.7kmの場所に位置し、調布駅、つつじヶ丘駅、三鷹駅、吉祥寺駅からそれぞれバスが乗り入れています。

西は武蔵境通り、東は三鷹通りに挟まれた、深大寺通り及び参道、寺前通り周辺の深大寺を中心とした地区であり、地区内のみならず、周辺環境からの誘導にも配慮したサイン整備を推進します。

サイン整備対象範囲図



2 地区内サインの現状と課題（過年度調査より）

(1) 地区内サインの現状と問題点

- ・ 深大寺地区は、観光地として、東京都・調布市・深大寺・そば店等による案内・誘導・位置サインのほか、交通や美観に関する規制サイン等、多種多様なサインが混在しています。
- ・ デザインの統一が図られていないため、歩行者・自動車利用者・車いす利用者などに分かりにくいものとなっています。
- ・ 来街者が地区内を散策し、楽しむための案内板や、誘導サインが不足しています。
- ・ サイン設置にあたっての考え方（設置基準）がないことから、適切な案内・誘導が図られていません。
- ・ 老朽化し、破損や盤面が不鮮明なサインも見られます。



現状のサイン

《深大寺通り街づくり協議会からの提案・意見》

- ・ 案内板の設置にあたっては、地区のイメージに合った統一デザインが必要
- ・ 地域全体案内図、調布駅から歩いて来れる案内板が必要
- ・ 順路を示す案内をしてはどうか
- ・ 高齢者・車イス・ベビーカー利用者等への配慮に乏しい
- ・ 自転車、歩行者、バス利用者等への交通案内が不足
- ・ バス停からの案内、武蔵境通りから深大寺通りへの入口案内、駐車場利用案内サインや駐車場の空き表示が不十分

(2) 整備に向けた配慮事項

- ・ 設置箇所が公共用地以外になる場合は、事前に土地所有者と管理協定等を締結するなどの措置を講じていきます。
- ・ 本計画にて整備するサインは、既存サインを全て撤去し設置するのではなく、新設や老朽化に伴う交換を行いつつ、深大寺地区としてのまとまりあるサインを整備します。
- ・ 上位関連計画で位置付けられている散策路等の回遊ルートと連携して整備を行っていきます。
- ・ 「深大寺通り周辺地区街づくり協定」に準拠した整備を進めていきます。
- ・ 地区における街なみ景観等の保全を図るため、デザインと設置基準により、民間事業者が設置するサイン等についても協力を求めていきます。

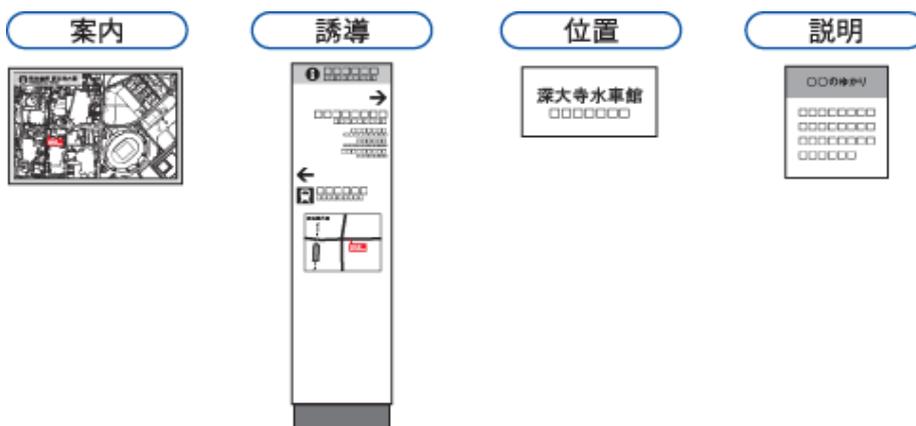
3 本地区で必要とされるサインの種類について

(1) 整備の対象とするサインの種類と機能等

深大寺地区では、以下の案内サイン・誘導サイン・位置サイン・説明サインについて方針を定め、整備を行います。

種類	定義	機能	該当例	設置想定箇所
案内サイン	施設等の全体像や位置関係等を案内するサイン	地区や施設全体を示し、現在位置との相互関係を示す。 地区や施設の全体像を知る。	エリアマップ等	バス停脇、駐車場脇、地区入口部など
誘導サイン	施設等の方向を指示するサイン	矢印で、利用者を目的の場所まで導く。	施設誘導 トイレ・スロープ等の誘導	交差点・分岐点等
位置サイン	施設等の位置を告知するサイン	その場所やものを示し、名称を示すことで、他と識別する。	施設や場所の名称	見所となる施設や場所
説明サイン	施設利用、文化財に関する様々な告知や説明等を行うサイン	文化財の内容や施設の機能を知る。 事物の内容、意図、使用方法などを説明する。	施設や文化財等の説明	文化財や施設

(2) サインの種類



※案内・誘導組合せ例

出典：「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」

4 サイン整備の基本的事項について

(1) 設置基準

1) サインの配置・設置方法

「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p7）に準拠します。

○サイン配置

・深大寺地区では、行動の起点と終点（同地点）を特定し、その間の要所にサインを配置する回遊型の線状配置とします。

2) サインの設置高

「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p8）に準拠します。

3) 表示基準

①ピクトグラムと矢印

基本的には、「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p9）に準拠します。しかしながら、ピクトグラムについては、深大寺地区の地域特性をふまえ、必要に応じオリジナルのマークも採用します。



②書体

視認性を重視しヒラギノ角ゴシック体を基本とします。その他文字間やルビなどは、「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p10）に準拠します。

③文字の大きさ

「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p11）に準拠します。

④案内図

深大寺地区では周辺案内図を作成し、その基準については、「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p12）に準拠します。

⑤レイアウト

「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p13）に準拠します。

⑥色彩

「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p14）に準拠します。

⑦表記方法

「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」（p15）に準拠します。

(1) 深大寺地区におけるサイン整備の考え方

「調布市公共サイン整備方針（平成 24 年 3 月）」では地区毎に歴史や自然などの特性を活かす場合は、地区毎にサイン整備計画を策定することができるとしており、深大寺地区では以下のような考え方で展開します。

【調布市公共サイン整備方針】

●基本方針 1 だれでもわかるサイン

- ・高齢者や障害者、子ども、外国人など、誰でも容易に認識、理解できるサインとするため、ピクトグラムや視認性のよい書体、文字サイズ、地図、色彩、多言語表記などの基本的な考え方を示します。
- ・情報の重複やサインの乱立により視認性や認識性が低下しないよう、情報の整理、集約化を図ります。

●基本方針 2 安全・安心に使えるサイン

- ・高齢者や障害者、子ども、外国人など、誰もが安心して利用できるよう、統一した設置基準を用いるものとし、構造（角が突き出ない形状や掲出高さなど）に配慮します。
- ・設置方法（視認性や連続性の確保など）について基本的な考え方を示します。

●基本方針 3 デザインの統一されたサイン

- ・統一した表示基準によるサインの設置・更新を行いデザインの統一を図ります。
- ・関係機関との連携により、同じ施設を示すサインが異なる文字表記や異なるピクトグラムを用いて混乱を招かないようにします。
- ・地区特性に配慮し、サイン本体の色や形状など景観への配慮を行うものとしします。

●基本方針 4 連続性の確保されたサイン

- ・起点から目的地まで案内・誘導が連続して行われるよう、配置の考え方を設置基準として示し、案内・誘導サインの連続性を確保します。

●基本方針 5 適切に維持管理されたサイン

- ・設置管理者が適切な維持管理を行うことにより、正確な情報提供をはじめ、見やすさや利用しやすさなど快適性を維持します。

【深大寺地区での展開の考え方】

- ・深大寺地区は観光地であり、特に高齢者や外国人観光客が多いため、言語だけでなく、視覚的にも容易に認識できるサインを目指します。

- ・深大寺地区の散策路は細い道が多いため、来街者の歩行の妨げにならないように、散策路脇の植栽地等に調和するように、サインの位置や大きさを工夫して設置します。
- ・散策路は様々なルートがあるため、目的地に迷わずたどり着けるように、次のサインが確認できる程度の適切な間隔で設置します。

- ・地区特性に配慮し、サイン本体の色や形状などに、景観への配慮を行います。
- ・周辺施設からの地区への誘導に際しても、デザイン統一を促します。

- ・深大寺散策のストーリー別「回遊コース」を設定し、案内・誘導が連続して行われるようにします。

- ・地域の方が活用でき、親しめるサインとなるよう、計画段階から関わりを持ちます。

6 サイン整備の計画コンセプト

深大寺地区におけるサイン計画に際しては、サイン整備の現状と課題、「調布市公共サイン整備方針（平成24年3月）」等の上位関連計画をふまえ、地区における街なみ景観の維持及び向上に関する計画である「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画（平成24年11月）」に基づくものとして、計画コンセプトを設定します。

(1) 深大寺地区の街なみ整備の目標と基本方針(出典:「調布市深大寺地区街なみ整備基本計画」)

街なみ整備の目標:「武蔵野の自然と歴史・文化を継承する街なみ景観づくり」

①水と緑と歴史が身近に感じられる環境の実現

深大寺地区の最大の魅力である水と緑の保全・改善及び歴史的資源を活かした環境づくり

②安全安心に深大寺地区を回遊できる環境の実現

歩行者の安全安心に配慮した楽しく歩いて巡れる歩行環境づくり

③自然環境と調和した趣ある街なみ景観の維持継承

豊かな水と緑と調和した歴史的風情のある街なみ景観の維持継承と来街者をもてなす環境づくり

●水と緑に関する保全・整備方針

- ・武蔵野の原風景を形成する樹木や湧水等の自然環境の保全を前提とした、樹林地や水路の整備・再生を実施する。
- ・豊かな自然環境は、訪れる人の最大の魅力であることに鑑み、所有者及び地域住民が協働して水と緑の維持管理に努める。

【事業計画・地域活動による取り組み】

- 水路整備
- *街づくり協定に基づく地域主体のまちづくり活動



●道路や広場等公共施設に関する整備方針

- ・深大寺通りや寺前通り・参道を中心に、居住者や来街者の安全安心に配慮しながら、周囲の自然環境や寺前の雰囲気を活かした、良好な歩行空間整備を行う。
- ・地区内に、居住者や来街者が豊かな自然環境を感じつつ、気軽に語らい、休憩できる空間の形成を行う。

【事業計画】

- 広場整備（タクシー待機所）
- 道路の美装化・改良（深大寺通り、寺前通り、参道）
- 遊歩道・散策路整備
- 案内板等サイン整備
- 電線類改善整備



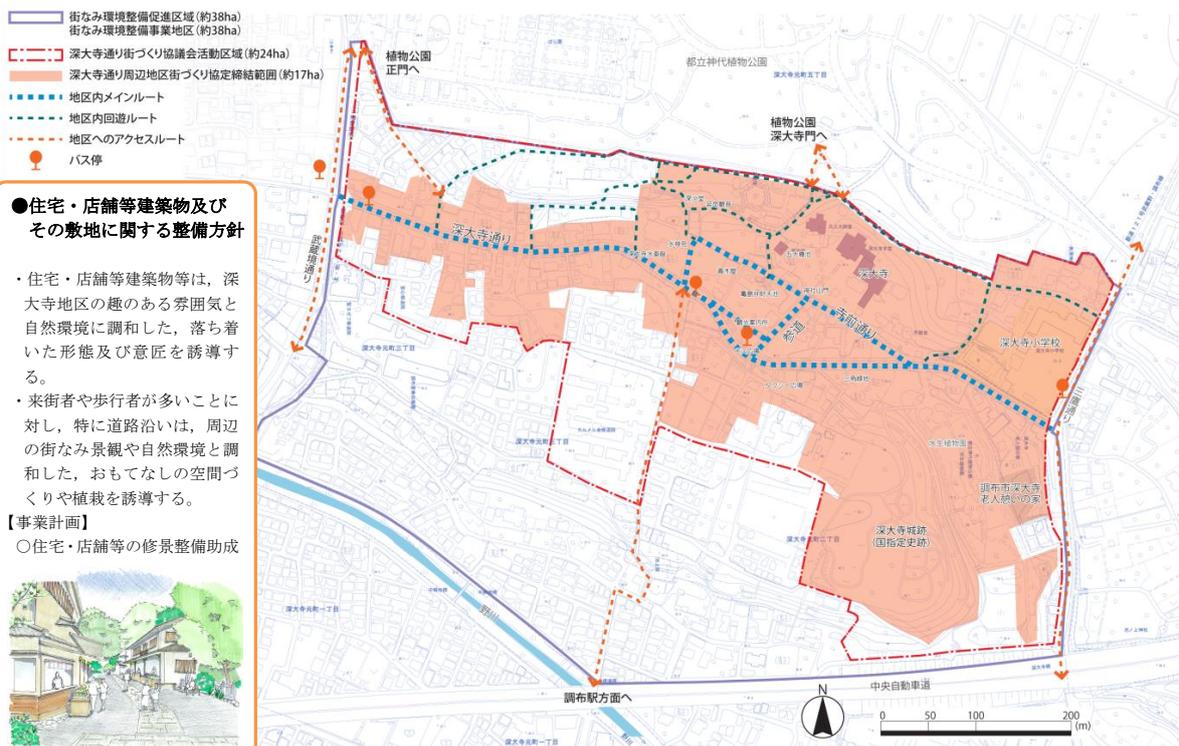
寺前通りの美装化イメージ図



深大寺通りの美装化イメージ図



深大寺通りの美装化(交差点部)のイメージ図



●住宅・店舗等建築物及びその敷地に関する整備方針

- ・住宅・店舗等建築物等は、深大寺地区の趣のある雰囲気と自然環境に調和した、落ち着いた形態及び意匠を誘導する。
- ・来街者や歩行者が多いことに対し、特に道路沿いは、周辺の街なみ景観や自然環境と調和した、おもてなしの空間づくりや植栽を誘導する。

【事業計画】

- 住宅・店舗等の修景整備助成



(2) 深大寺地区公共サイン整備計画の目標と整備方針

1) 深大寺地区公共サイン整備計画のコンセプト

深大寺地区の街なみ整備の3つの目標のうち、2つめの目標がサイン計画に関連します。

- ②安全安心に深大寺地区を回遊できる環境の実現
歩行者の安全安心に配慮した楽しく歩いて巡れる歩行環境づくり

■ 計画コンセプト

自然環境や歴史的風情と調和した深大寺散策の魅力を高めるサイン整備

2) 公共サインの整備方針

公共サイン整備に際しては、深大寺地区街なみ整備基本方針における「道路や広場等公共施設に関する整備方針」を踏まえ、以下の整備方針を掲げます。

【案内・誘導】居住者や来街者に地区を紹介し、目的地まで分かりやすく、安全安心に誘導します。

【誘導】居住者や来街者が、地区の魅力を感じ、回遊を楽しめるよう、適切に誘導します。

【位置・説明】居住者や来街者が豊かな自然環境や歴史的風情に親しめるよう、位置や説明を示します。

【デザイン】サインの見やすさ、使いやすさはもちろんのこと、周囲の自然環境や寺前の雰囲気と調和するデザイン・素材とし、街なみ景観の向上に寄与するものとしします。

【維持管理】耐久性があり、日常的・長期的に維持管理しやすいものとしします。

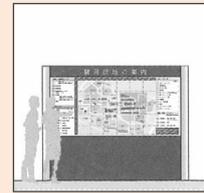
7 各種サインのデザイン方針

(1)案内サイン

●案内サインの概要（機能・用途）

案内サインとは、現在地や目的地を分かりやすく明示するサインの事で、来街者が最も目にするサインであることから、明示性とともデザイン性を重視します。

- ・A0 平面マップ
- ・文字表記は日本語及び英語，一部中国語・韓国語表記
- ・記号表記は，JIS 基準に応じたピクトグラムとオリジナル表記の併用



□デザイン方針

○表示基準

- ・案内用図記号（JIS Z 8210）及び標準案内用図記号を使用します。
- ・ピクトグラムが必要だと思われる箇所としては，そば店・土産物店・神代植物公園・水生植物園などがあります。
- ・深大寺地区に多数存在するそば店・土産物店は，情報の乱立を避けるため，統一記号（○ △ ☆等）で示します。



標準案内用図記号（一部）



公園のピクトグラム

○書体

- ・地名や施設名、メーター表示等は，視認性に優れる「ヒラギノ角ゴシック体」とします。
- ・文字は四ヶ国語（日本語，英語，中国語，韓国語）表記します。
- ・必要に応じピクトグラム表記をします。

固有名詞：ヒラギノ角ゴシック体
深大寺

深大寺は正式名称を天台宗別格本山浮岳山昌楽院深大寺といいます。浮岳とは遥かに遠くを望み山が浮かんでいる様に見えるところから呼ばれ、遠来の際に目印にしたと思われています。

説明文：ヒラギノ角ゴシック体

○色彩

- ・ベース色は，深大寺の景観を損なわず落ち着いた色合いで馴染みやすい茶色とする。



○素材

- ・深大寺地区の特性を印象づけ，さらに耐久性，耐候性に優れた鋼材を主材として使用します。



以下，可能であればなお好ましい要素

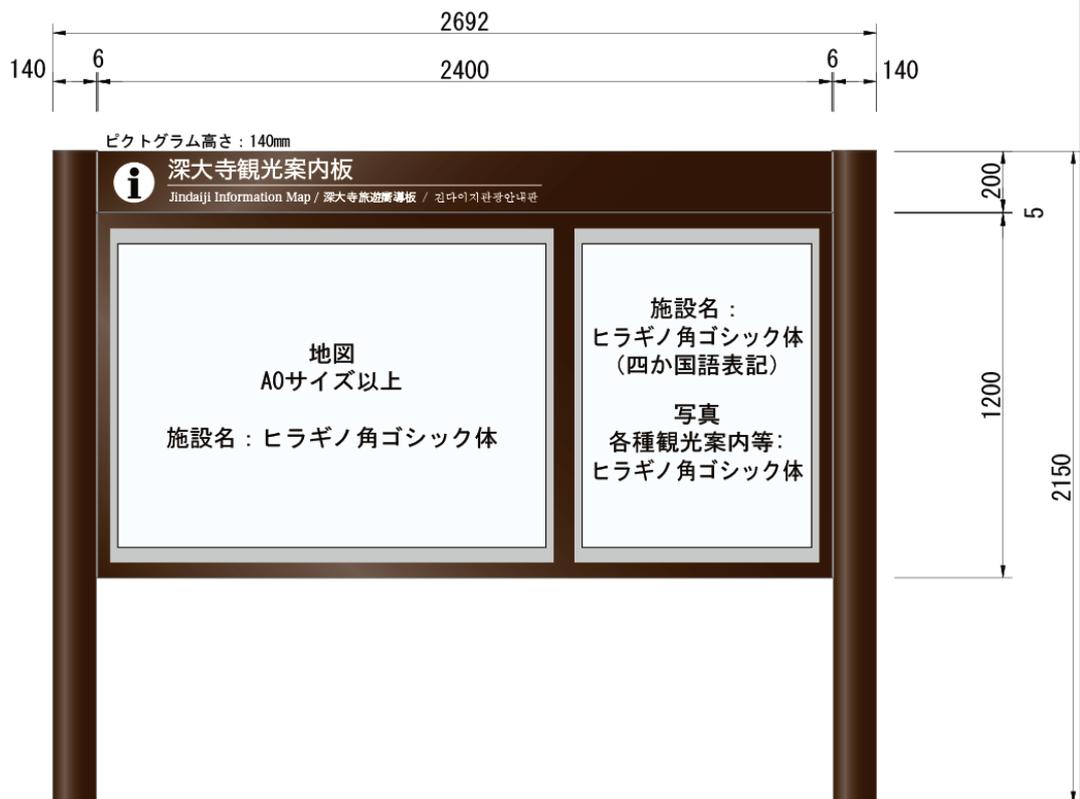
○場の作り方

- ・瓦縁石と白玉石，地被植栽（タマリユウ等）で場をつくります。



デザインイメージ

日本語 : ヒラギノ角ゴシック体 360pt
 英語 : Dutch801RmBT 体 240pt
 中国語 : ヒラギノ角ゴシック体 240pt
 韓国語 : 바탕体 240pt



支柱 : アルミ押出型材、合成樹脂塗装 (ダークブラウン)
 FBパネル : t2.0 アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ダークブラウン)
 Fパネル : t1.5 アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ホワイト)
 裏パネル : t1.5 アルミ板、合成樹脂焼付塗装 (ダークブラウン)

(2) 誘導サイン

● 誘導サインの概要（機能・用途）

誘導サインとは、目的となる主要な地域・施設への方向，距離などを示すもので，矢印と地名，施設名の組み合わせで表現します。

来街者の‘道しるべ’として機能するものであるため，明示性の高いデザインとします。又，深大寺周辺の散策コースの明示も行います。

散策路を印象付ける施設となるため，ポール型を基調とし，設置箇所によっては自立型，路面やフェンスに配置する壁取付型，床面埋込型等に合わせて形状を変化させます。

- ・ 目指すべき施設等の方向や距離を示す
- ・ 文字表記は日本語を主体に他三ヶ国語を表記
- ・ 散策コースを示すポイント色を入れる



□ デザインの方針

固有名詞：ヒラギノ角ゴシック体

○ 書体・表記

- ・ 地名や施設名，メーター表示等は，視認性に優れた「ヒラギノ角ゴシック体」とします。
- ・ 文字は四ヶ国語（日本語，英語，中国語，韓国語）表記します。
- ・ 必要に応じピクトグラム表記をします。

深大寺 200m
Jindaiji-Temple

メーター表示：ヒラギノ角ゴシック体

○ 色彩

- ・ ベース色は，深大寺の景観を損なわず落ち着いた色合いでの馴染みやすい茶色とします。
- ・ 散策ルートを示すポイント色として，歴史を示すオレンジ色，せせらぎの水色等を使用します。



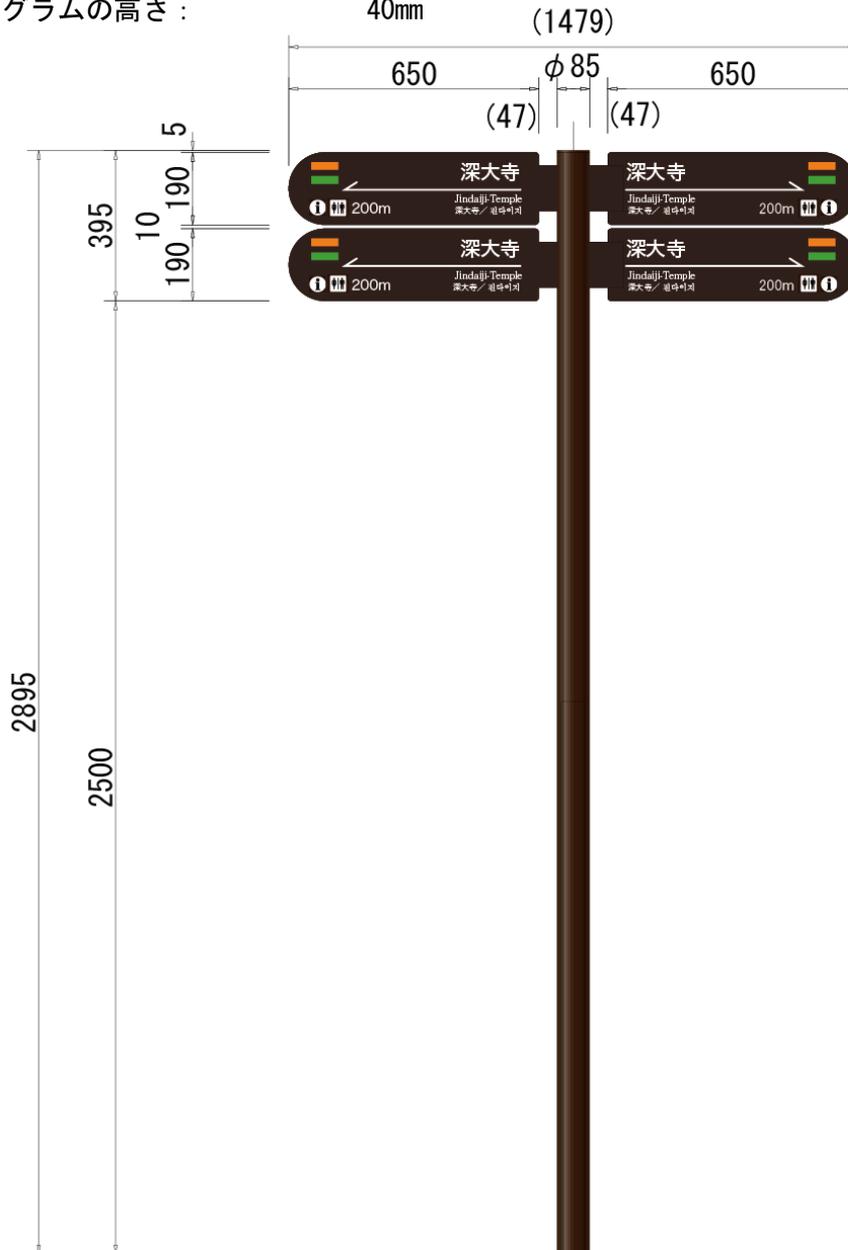
○ 素材

- ・ 深大寺地区の特性を印象づけ，さらに耐久性，耐候性に優れた鋼材を主材として使用します。



デザインイメージ

日本語 : ヒラギノ角ゴシック体 200pt
 距離 : ヒラギノ角ゴシック体 100pt
 英語 : Dutch801RmBT 体 70pt
 中国語 : ヒラギノ角ゴシック体 65pt
 韓国語 : 바탕体 65pt
 一線 : 15pt
 ピクトグラムの高さ : 40mm



表示板 : t4.0 アルミ板 合成樹脂焼付塗装 (ダークブラウン)
 支柱 : アルミ押出形材 合成樹脂焼付塗装 (ダークブラウン)
 インナーパイプ : $\phi 60.5 \times t3.2$ 鋼管、亜鉛メッキ処理
 表示板取付金物 : アルミ押出形材 合成樹脂焼付塗装 (ダークブラウン)
 ボルト類は全てステンレス製とする。

デザインイメージ

メイン（日本語）の文字を文字数に応じて変化させた場合

日本語 : ヒラギノ角ゴシック体

1文字から5文字の場合 200pt

6文字から7文字の場合 170pt

8文字の場合 148pt

距離 : ヒラギノ角ゴシック体 100pt

英語 : Dutch801RmBT 体 70pt

中国語 : ヒラギノ角ゴシック体 65pt

韓国語 : 바탕체 65pt

一線 : 15pt

ピクトグラムの高さ : 40mm



(3)位置サイン

●位置サインの概要（機能・用途）

- 位置サインとは，施設名称や住所，特定の地点を記したサインです。
本整備では公共サイン整備のため通りを示すサインとして使用します。
- ・通り名を示す位置サイン
 - ・文字表記は日本語主体に，他三ヶ国語表記

□デザインの方針

○書体

- ・地名や施設名，メーター表示等は，視認性に優れた「ヒラギノ角ゴシック体」とします。
- ・文字は四ヶ国語（日本語，英語，中国語，韓国語）表記します。
- ・必要に応じピクトグラム表記をします。

施設名：ヒラギノ角ゴシック体

深大寺
Jindaiji-Temple

○色彩

- ・ベース色は，深大寺の景観を損なわず落ち着いた色合いで馴染みやすい茶色とする。



○素材

- ・深大寺地区の特性を印象づけ，さらに耐久性，耐候性に優れた鋼材を主材として使用します。



デザインイメージ

日本語 : ヒラギノ角ゴシック体 200pt
英語 : Dutch801RmBT 体 50pt
中国語 : ヒラギノ角ゴシック体 50pt
韓国語 : 바탕体 50pt
ピクトグラムの高さ : 60mm



表示基板 : アルミ押出形材、合成樹脂焼付塗装（ダークブラウン）
トップフレーム : t3.0アルミ板、合成樹脂焼付塗装（ダークブラウン）
指示無きビス類は全てステンレスとする。

(4)説明サイン

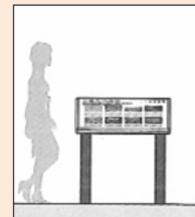
●説明サインの概要（機能・用途）

説明サインとは、物事の説明を記したサインです。

深大寺の歴史や自然、観光施設の解説など学習のためのものや、施設の利用説明などを行います。

公共サイン整備としては、水車館のみで今後、民間サインを誘導する意味合いでも補足します。

- ・水車館の二つの既存サインを結合し、新たに設置
- ・文字表記は主に日本語と英語を主体とし、タイトル部は位置サインの役割を果たすことから四ヶ国語表記とする



□デザインの方針

○書体

- ・地名や施設名、メーター表示等は、視認性に優れた「ヒラギノ角ゴシック体」とします。
- ・文字は四ヶ国語（日本語、英語、中国語、韓国語）表記します。
- ・必要に応じピクトグラム表記をします。

固有名詞：ヒラギノ角ゴシック体

深大寺

深大寺は正式名称を天台宗別格本山浮岳山昌楽院深大寺といいます。浮岳とは遥かに遠くを望み山が浮かんでいる様に見えるところから呼ばれ、遠来の際に目印にしたとされています。

説明文：ヒラギノ角ゴシック体

○色彩

- ・ベース色は、深大寺の景観を損なわず落ち着いた色合いで馴染みやすい茶色とする。
- ・施設に応じて紋やマーク等をアクセントで入れる。



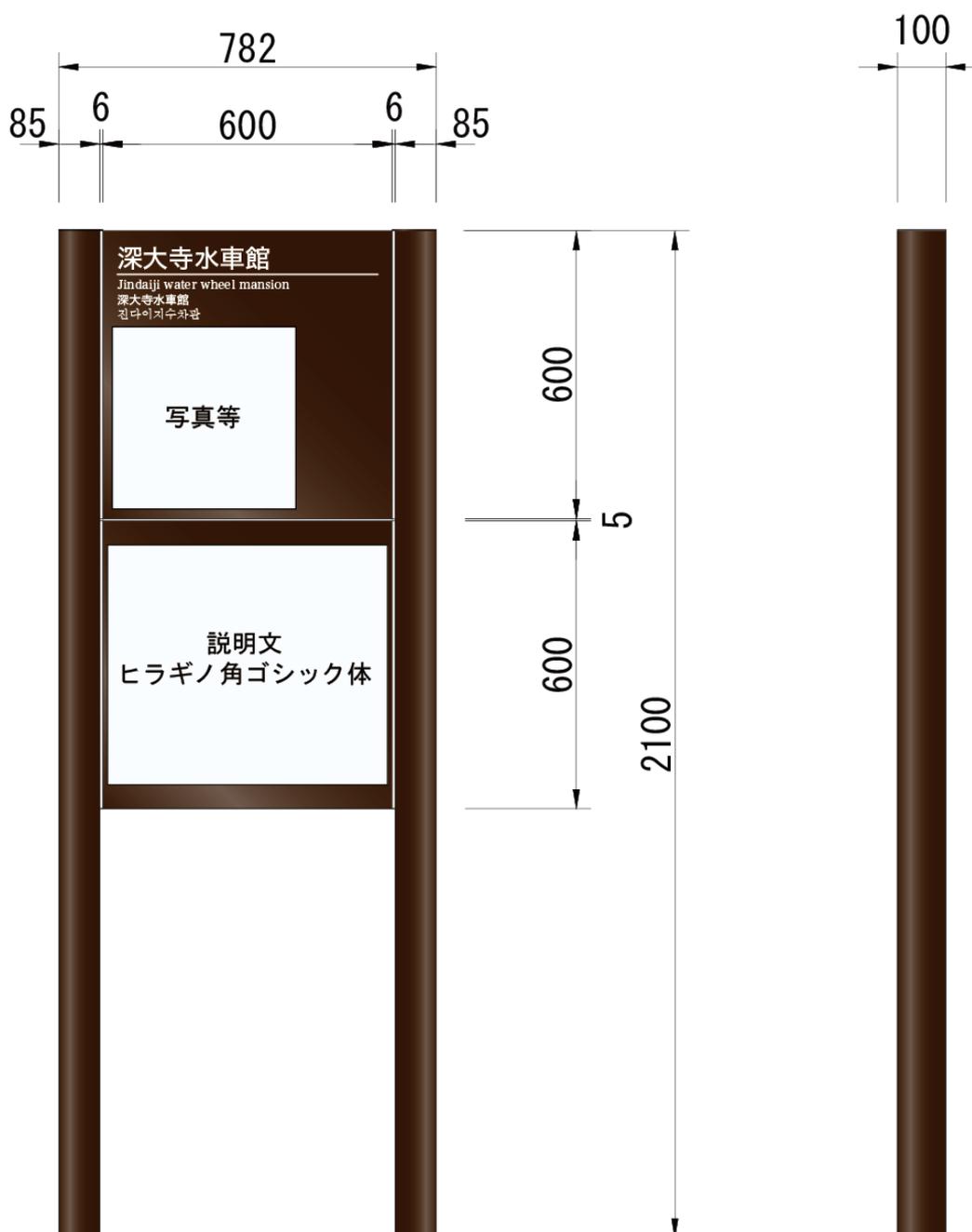
○素材

- ・深大寺地区の特性を印象づけ、さらに耐久性、耐候性に優れた鋼材を主材として使用します。



デザインイメージ

日本語 : ヒラギノ角ゴシック体 150pt
 英語 : Dutch801RmBT 体 70pt
 中国語 : ヒラギノ角ゴシック体 70pt
 韓国語 : 바탕체 70pt



支柱 : アルミ押出型材、合成樹脂塗装（ダークブラウン）
 Fパネル : t1.5 アルミ板、合成樹脂焼付塗装（ホワイト）
 裏パネル : t1.5 アルミ板、合成樹脂焼付塗装（ダークブラウン）